

第X回：タイトル (報告書ごとに内容にふさわしいタイトルをつける)
Xth : Title (English title should be followed after Japanese title)

M1 立命 太郎

● 前回 (20xx/xx/xx) のディスカッション内容

ここでは前回のディスカッション内容を簡単にまとめて書く．前回は報告した内容，議論したこと，宿題に出されたことなどを書いて今回のディスカッションがスムーズに進行できるようにする [1]．

1 タイトルは自由に

章タイトルは`\section`を使用する．必要に応じて`\subsection`や`\subsubsection`を使用することによって 1.1 や 1.1.1 のように章番号を付けることができる [2]．

1.1 文章

文章は【です・ます】ではなく、【だ・である】にし、口語ではなく文語形式で作成する．また、【。、】に関しては、そのままでも良いし、【. ,】でも良い．

2 図と表,そして式

簡単に図, 表, 式等に関して説明する．ここに入れる図, 表, 式は必ず完成度が高いものにする．その理由はこの資料を作成して終わりにするのではなく, この資料を論文作成などにも利用できるようにするためである．すなわち, 一度作成したものは再利用できるように品質の高いものにする．図や表はなるべくページの一番上か一番下に配置するのが好ましい．

2.1 図の場合

図を挿入する場合はキャプションを必ず書く．図番号は \LaTeX が自動で付加してくれる．図のキャプションは図の下に書く．

ちなみに, 図1はベクタ形式, 図2はラスタ形式である．基本的にラスタ形式 (jpg や png など) よりもベクタ形式 (eps など) の方が, 「拡大してもギザギザにならない」等の利点もあるため, 読み手からは好まれる．

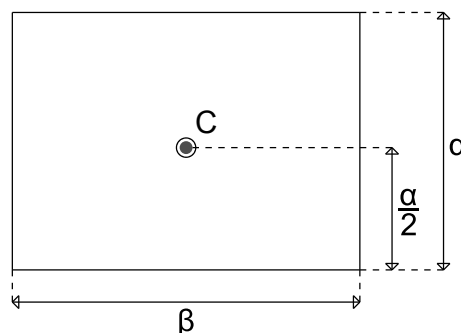


Fig. 1: 図のキャプションは必ず書く



Fig. 2: 図番号は \LaTeX が自動で連番にしてくれる

Table 1: 表の例

a	b	c
あいう	えお	かきくけこ

2.2 表の場合

表も図と同様である．番号を付けた図や表は図 1，図 2，表 1 のように文中から参照する方が望ましい．表のキャプションは表の上に書く．

2.3 式の場合

数式を入れるときは必ず式 (1) のように数式番号を右に記載する．数式番号の記載は \LaTeX が自動で行ってくれる．

$$\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \\ e & f \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \alpha \\ \beta \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \Phi \\ \Gamma \\ \Psi \end{pmatrix} \quad (1)$$

3 今後の計画

最後は必ずこれからの計画を書く．やることの内容といつまで何処までをやるかを明記する [3]．

日付	達成内容
～x/x	\LaTeX を勉強する
～x/xx	\LaTeX のテンプレートを作る

参考文献

- [1] 立命太郎 and 立命花子. “参考文献 1”. In: *AISLab ゼミ資料* (2025), pp. 0000–0000.
- [2] 立命太郎 and 立命花子. *参考文献 2*. AISLab, 2025.
- [3] 李周浩. *AISLab*. 立命館大学 李・TRAN 研究室. Accessed on 11.03.2025. 2004. URL: <http://www.aislab.org/>.